ふくろい 市議会だより

Fukuroi City Council Newsletter
令和8年
11月1日
No. 103

contents

9月定例会の概要 2
常任委員会レポート 4
市政に対する一般質問 6



～令和8年度の表紙写真のテーマは
「市内で活動する団体の紹介」です～

©AZALEA

一般社団法人アザレア・スポーツクラブ アザレア・セブン（ラグビーチーム）

競技力向上および地域との連携活動をより一層強化し、ファンや地域の皆さまに対して、「地域の夢を女性へ、子どもへ」を実践し、愛されるクラブを目指してまいります。

Pickup 1 令和7年度一般会計など9会計の決算はすべて認定

詳しくは2ページへ

Pickup 2 国に対する2つの意見書の提出を可決

詳しくは2ページへ

9月
定例会

Pickup 1

一般会計など
9会計の決算はすべて認定

市議会は、９月定例会を８月24日から９月30日までの38日間の会期で開催しました。
今定例会では、市長から提出された令和８年度一般・特別・企業各会計補正予算をはじめ、令和７年度一般・特別・企業各会計決算認定を含む20議案と６件の報告、議員から提出された国に対する意見書の提出についての２議案が上程され、採決の結果、原案どおり可決・認定しました。
また、市政に対する一般質問では、13人の議員が市長・教育長の見解をただしました。

◎議決した主な議案

【市長提出議案】

令和８年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業のほか、令和７年度決算額確定に伴う各種過年度精算および剰余金の整理などのために、６億８８００万円を増額するものです。
これにより、補正後の一般会計予算総額は、４２６億９８００万円となりました。

〈第２号〉（主なもの）

●基幹系システム運用・管理事業・・４億６４３９万円
自治体情報システムの標準化移行に伴うシステム構築費などの追加によるものです。

●袋井茶振興事業・・・・・・・・・・・・４６７万円
輸出用の茶葉の生産に向けた新植・改植・被覆に係る輸出拡大生産体制強化支援事業費補助金の追加によるものです。

●物価高騰対策事業・・・・・・・・・・・・３０２９万円
国の「重点支援地方交付金」を活用したデジタルクーポン発行事業の追加によるものです。

【債務負担行為】※1

●自治体情報システム標準化福祉総合システム構築業務委託
《期　間》令和９年度
《限度額》３億１１２０万円

※1　債務負担行為とは
１つの事業や事務が単年度で終了しない場合に、議会の議決を経て、その期間と限度額を定めておく制度です。

条例の一部改正（主なもの）

●袋井市消防団員の定員、任免、報酬、費用弁償及び服務等に関する条例の一部改正について
令和７年度に策定した「袋井市消防団組織最適化計画」に基づき、消防団員の定数を６６０人から５７０人とするため、所要の改正を行うものです。

●袋井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
国の「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」に基づき、児童対象性暴力などの防止のために、従事者に係る犯罪事実確認やその他の必要な措置に関する規定、理学療法士などの配置に関する特例および満３歳以上限定小規模保育事業に関する基準を整備するため、所要の改正を行うものです。

Pickup 2

【議員提出議案】

国に対する意見書

２つの意見書を国に提出する議案を全会一致で可決しました。

●多文化共生社会実現のための予算措置と法整備を求める意見書
〈提出先〉
衆・参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、法務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、外国人との秩序ある共生社会推進担当大臣

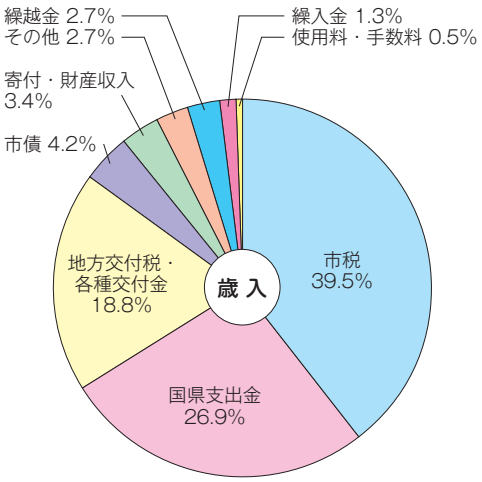
●自動車運転中の「ながらスマホ」根絶に向けた実効的対策強化を求める意見書
〈提出先〉
衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長

令和7年度決算認定

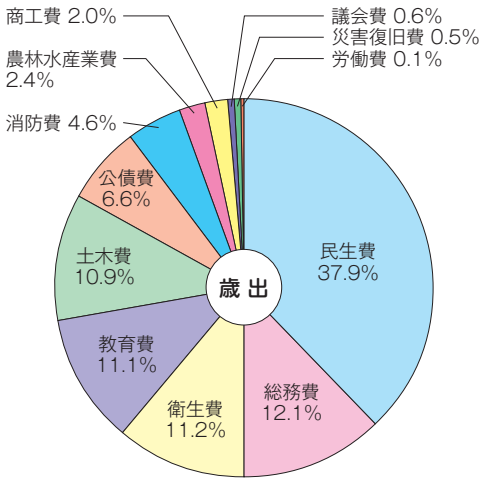
市は、予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会は、予算の使い方が適正かつ効率的であったか、どのように事業の効率が上がったかなどを決算審査し、今後の予算や事業計画への要望を伝えます。

【一般会計】 市の基本的活動を行うのに必要な歳入・歳出を経理する会計です。

歳入 414 億 9,730 万円



歳出 404 億 3,993 万円



【特別会計】 特定の事業に使われる会計で、国民健康保険をはじめ５会計あります。

会計名	予算額	歳入決算額	歳入執行率(%)	歳出決算額	歳出執行率(%)
国民健康保険	76億1,100万円	76億8,491万円	101.0	75億4,966万円	99.2
後期高齢者医療	12億9,000万円	12億8,163万円	99.4	12億8,159万円	99.3
介護保険	65億7,000万円	66億　533万円	100.5	63億7,009万円	97.0
駐車場事業	4,570万円	4,595万円	100.5	4,338万円	94.9
墓地事業	7,300万円	8,442万円	115.6	6,908万円	94.6

○金額と割合は、それぞれ１万円未満と小数点以下第２位を四捨五入して記載しています。

【企業会計】 公共の福祉を目的に経営する独立採算の会計で、水道事業をはじめ３会計あります。

会計名			予算額	決算額	執行率(%)
水道事業	収益的収支	事業収益	19億2,420万円	19億3,787万円	100.7
		事業費用	17億3,090万円	16億4,843万円	95.2
	資本的収支	資本的収入	4億7,840万円	4億6,504万円	97.2
		資本的支出	11億7,470万円	10億9,103万円	92.9
下水道事業	収益的収支	事業収益	17億7,500万円	18億　578万円	101.7
		事業費用	17億5,000万円	17億　663万円	97.5
	資本的収支	資本的収入	15億4,747万円	14億6,478万円	94.7
		資本的支出	19億5,404万円	18億3,654万円	94.0
病院事業	収益的収支	事業収益	19億7,700万円	19億4,615万円	98.4
		事業費用	19億7,700万円	19億3,259万円	97.8
	資本的収支	資本的収入	7,800万円	7,470万円	95.8
		資本的支出	1億1,000万円	1億　608万円	96.4

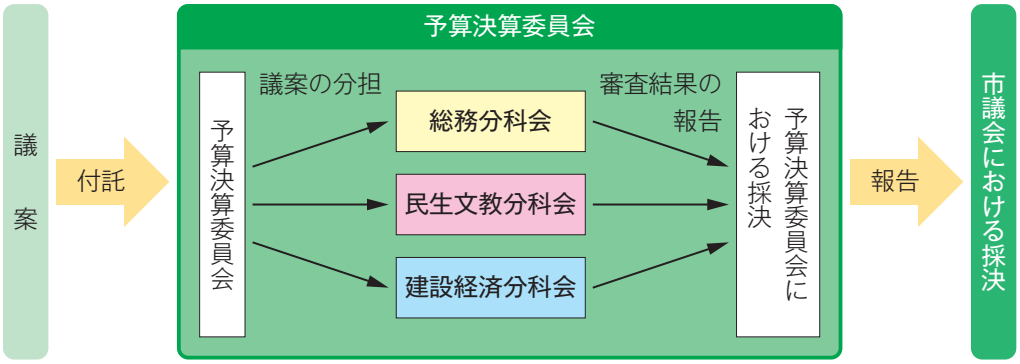
○金額と割合は、それぞれ１万円未満と小数点以下第２位を四捨五入して記載しています。

９月定例会は“決算議会”とも言われ、前年度の一般・特別・企業会計の各決算を中心にさまざまな議案が市長から提出されます。市議会では、提出された各決算と補正予算に関する議案は予算決算委員会、それ以外の議案は総務委員会・民生文教委員会・建設経済委員会で審査しています。

今回の常任委員会レポートでは、予算決算委員会の各分科会における決算議案、民生文教委員会における「袋井市印鑑条例の一部改正について」の審査について掲載しています。

予算決算委員会

予算・決算議案審査の流れ



総務分科会

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～広報費～

問　ふるさと納税そのものを増やしていくということも重要ではあるが、同時に袋井市の地場産品などをプロモーションすることにより、市内事業者の売り上げの増加および経済効果が生まれることがブランド戦略として必要と考えるがどうか。

答　ふるさと納税は、市の財源的な財政を増強していくということだけでなく、袋井市の魅力をできるだけ多くの方々にお届けをし、関係人口を増やしていくための手段でもある。関係人口が増え、袋井市を訪れていただく方が増えるという点では、そういった市内の経済的な効果ということも想定できるのではないかと考えている。



ふるさと納税チラシ（抜粋）

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～地域振興費～

問　原材料支給における支給自治会数が、令和6年度の26自治会から令和7年度は10自治会へと大幅に減少している。この大幅な減少となった要因についてどのように分析をされたか。また、昨年9月の決算審査では、市から原材料の支給を受けたのち、施工そのものは自治会が業者へ依頼できる仕組みにならないかとの質問に対し、制度上の線引きが必要であることに合わせて、自治会からの要望を聞きながら柔軟な対応も必要であるとの答弁をいただいている。その後、この制度について、具体的にどのような検討を行ったのか。

答　申請件数減少については、要望をあげた自治会長と本申請することになる次年度の自治会長との引き継ぎが不十分のため、申請に至らないケースがあることも減少理由の一つである。また、業者の関わりについては、原材料支給は、地域の皆さんで作業は行っていただくという前提のもと、原材料を支給するというのが、そもそもの原点であるため、この考えは残したいと考える。しかしながら、ご高齢の方が作業を行っていることも承知しているので、地域の若い方の力を貸してほしい旨を自治会長にお願いしてまいりたい。

民生文教分科会

議第70号　令和8年度袋井市一般会計補正予算（第2号）について

問　訪問入浴サービス事業委託料を増額する理由は何か。また、このサービスは災害時にも利用できる体制となっているか。

答　令和7年度当初は利用者が2名であったが、年度後半から4名に増加したことに伴い、利用回数が増加し、予算の増額が必要となった。また、災害時におけるサービス利用については、そもそもこの事業は、訪問入浴車両が利用者の自宅に出向き、利用者宅の水道を使用してサービスを提供するものであるが、昨年度災害救助法の一部改正により、自宅以外の場所でも福祉サービスを利用することができるようになったため、水道の使用などの条件が整えば、災害時にもサービスを利用することができる。


訪問入浴サービスのイメージ

常任委員会レポート

予算決算委員会

民生文教分科会

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～予防費～

問　帯状疱疹ワクチンについて、定期接種の対象とならない50歳以上の市民に対して接種費用の一部助成を行ったということであるが、助成事業の効果をどう捉えているか。

答　本市が任意接種として導入するワクチンについては、感染症の発症予防効果、重症化予防効果、市民の生活の質を安定させるために必要であるかといった費用対効果などを研究したうえで導入しており、令和6年度から、市の独自の事業として、50歳以上の方を対象に帯状疱疹ワクチン接種費用を助成した。その後、法改正により、令和7年度から、65歳、また、そこから5歳おきの年齢の方を対象とした帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まった。50歳から64歳までの働き盛りの年代の方が市の助成事業を活用しワクチンを接種することで、罹患後の後遺症による生活への支障を予防する効果があるなど、助成事業は一定の効果があると考えている。

建設経済分科会

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～商工総務費～

問　応援商品券のプレミアム率が令和6年度・令和7年度ともに20％となっているが、他市では30％や50％のところもある。プレミアム率を決める視点はどのように決めているのか。また、掛川市では給付型の商品券の取組をしているが、袋井市でも検討する中で話題になったか。

答　プレミアム率については、令和6年度・令和7年度は20％で、今年度は30％としている。国の重点支援交付金を活用した事業であり、国が重点支援交付金を交付するにあたって、1人当たりの金額は3000円程度という目安が示されているため、これを踏まえて設定をしている。また、今年度、掛川市では給付型で1人につき5000円を給付する形で実施していることは承知しているが、給付型、購入型を検討するにあたり、袋井市では、例年購入型で行ってきており、市民も慣れてきていることから、従来のやり方を継続する形で考えている。

議第74号　令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について～治水対策費～

問　新たな浸水ハザードマップとPR動画作成後、市民からの意見はどのようなものがあったか。

答　浸水ハザードマップの説明会を14箇所で実施し、約600名の方に参加していただいた。参加者数は前回の説明会よりも増加し、多くの方に興味を持っていただいていると実感している。否定的な意見もなく、前向きな姿勢で受けていただき、避難行動などに関する質問が多かった。引き続きチラシの配布や、防災訓練の中での周知など、多くの市民に理解していただけるよう取り組んでいく。



Youtubeで公開されている
職員による解説動画

視聴はこちらから

民生文教委員会

議第85号　袋井市印鑑条例の一部改正について

問　今回の改正によって、特定在留者カードと特別永住者証明書のカードを用いて証明書コンビニ交付サービスを利用できるようになるということか。現在の証明書コンビニ交付サービスとの違いはあるか。

答　特定在留カードおよび特別永住者証明書のカードについては、従来のマイナンバーカードと同様の機能を有しているため、証明書コンビニ交付サービスについても、マイナンバーカードを用いる場合と同様に証明書を取得することができる。



証明書コンビニ交付サービスのイメージ

市政に対する

一般質問



森岡 弘記 議員

人口減少時代における市独自の地域経営

問 AIによる「時間創出」と「時間の再配分」は。

答 自治体における経営資源は財源や人材だけでなく「時間」も重要な資源であると認識している。職員はAIやデジタル技術の活用により、市民サービスの利便性向上と業務効率化を進めている。今年10月1日から市役所などの窓口開庁時間を午前9時から午後4時までに設定し、短縮により生み出される時間を業務改善や政策の検討などに充て、新たな市民ニーズへの対応を進める。また来庁者の意見や職員の時間外勤務の状況、職員アンケートの実施により窓口開庁時間変更の効果を検証し来年4月からの本格実施を目指している。職員一人一人が仕事のみならず、プライベートとの調和が図られ、心の豊かさを実感できる職場環境づくりに取り組んでいく。

問 AI・デジタルを活用して「時間・距離の制約」と地域格差をどう緩和するか。

答 居住地域による時間と距離の不利益を生じさせることなく、いつでも、どこでも、必要な行政手続きが行えるよう「行かない窓口」の推進に取り組んでいる。具体的には、電子申請の利用促進と対象拡大に積極的に取り組むとともに、市公式ホームページやメローねっとの充実による情報発信を強化している。



「らくらくサポート窓口」が好評の浅羽支所



八木伸太郎 議員

ひきこもり支援施策の取組

問 潜在的なひきこもり対象者の掘り起こし方法は。

答 潜在的なひきこもりを把握していくためには、地域の理解が不可欠であり、ホームページや広報ふくろい、民生委員・児童委員の活動を通じて、相談窓口の周知啓発に努め、情報収集に努めていきたい。

問 コンビニエンスストアやドラッグストアと連携して、相談支援窓口が分かるポスターを設置するのはどうか。

答 市内のコンビニエンスストアやドラッグストアなどに相談窓口の周知用ポスターの掲示について依頼していきたい。

認知症施策の取組

問 本市における認知症サポーター養成講座の受講者数と今後の養成方針は。

答 認知症サポーター養成講座の延べ受講者数は、昨年度末時点で1万3745人である。高齢者の受講が多いことから、学校や事業所などに重点的に普及啓発を図り、より幅広い世代に認知症サポーターの養成を推進していきたい。



認知症サポーター募集チラシ



夏目 幸彦 議員

大規模地震に備える防災・減災対策

問 一時的に無人化する被災地域の防犯に対する対応は。

答 袋井警察署に対し巡回警備を依頼する。加えて消防団による警戒活動も有効である。可能な範囲で地域のパトロールも提案していきたい。

問 令和8年熊本地震による本市の新たな課題認識と防災・減災対策の加速化は。

答 本部員会議では、猛暑による熱中症対策、ライフラインの応急・復旧対策、指定避難所以外の避難者の把握と支援方法など多くの課題が挙げられた。現時点では、被災後の生活の質の向上や地域の防災力強化が実施率の低い施策となっている。熊本地震の検証や県の第5次被害想定を踏まえ、これらに取り組んでまいりたい。

自助による防犯対策強化支援

問 住宅用防犯機器の設置支援について検討する考えは。

答 個人住宅における防犯対策の取組は重要かつ有効である。犯罪発生状況および近隣市町の各種取組状況を参考にしながら、研究してまいりたい。市民が安心して暮らせる環境整備のため、国や県とも連携しながら防犯対策に努めてまいりたい。



防犯カメラの例

ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。
※通信料がかかる場合があります。



鈴木（すずき） 功三（こうぞう） 議員

高齢者が暮らし続けるための支援

問 既存の制度では対応が難しい課題に対し、関係機関との連携も含めた支援につなげる仕組みをどのように構築しているか。

答 地域包括支援センターごとに配置している地域の民生委員・児童委員やボランティア団体などで構成する第2層協議体において、地域の民間事業者との連携によるサービスの創出や、住民主体の支え合いの活動の創設など、地域内で話し合い、その解決に向けて調整を図ることができるよう体制を構築している。

地域内経済循環を生み出す公共調達

問 市内企業への優先発注の基本的な考え方の明文化は。

答 2024年度に「市内事業者への優先発注の取り扱い」を定め、毎年度、庁内各所属に通知し、市内事業者への優先発注の徹底を図っている。



第2層協議体による活動



村松（むらまつ） 孝師（たかのり） 議員

学校施設の防火・避難体制強化

問 防火管理者および消防計画の管理体制についてはどのようになっているか。

答 市内の各小・中学校では主に教頭を防火責任者に選任し、消防計画の作成・変更、消火・通報・避難訓練の計画と実施に関する権限と責任を明確にしている。毎年必ず消防計画を作成し、消防署に提出し精査・指導をいただいている。また、消防署の定期的な立入検査時には、計画内容の再確認や指導もいただいている。

問 東京都の小学校での火災を踏まえた総点検と今後の連携・検証についての対応状況は。

答 市内すべての小・中学校長あてに安全管理の点検と今後の取組の検討を指示している。各学校では、私物の持ち込みや避難経路上の障害物、コンセントの使用状況など校内の安全確認を改めて実施し、いずれも問題となる事象は確認されていない。



浅羽北小学校での火災を想定した避難訓練の様子



金子（かねこ） 晃久（てるひさ） 議員

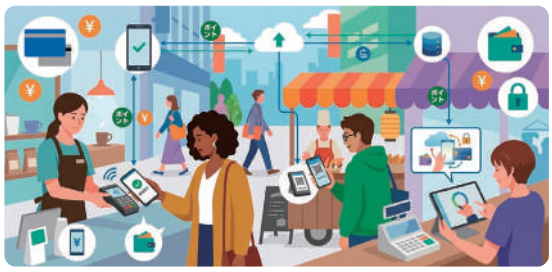
デジタル地域通貨の可能性

問 既存の#2961ウオークのデジタル基盤を活用して、健康づくりや地域活動に対する政策ポイントを、地域通貨として市内店舗などでの日常的な利用を組み合わせる仕組みについての考えは。

答 地域通貨は決済機能が必要となり、セキュリティーや不具合が発生しないよう、より高度なシステム構築や運用管理が求められるため、技術面や費用面から、導入にはハードルが非常に高く、地域通貨への移行は現時点では難しいと考えている。

問 地域通貨導入の可能性についての市の見解は。

答 地域通貨導入の可能性については、先進事例の運用状況を注視するとともに、本市の地域経済の活性化に資する可能性や持続可能な運用体制の構築といった観点から、金融機関や商工団体などの関係者と対話を重ねながら、引き続き、調査研究してまいりたい。



デジタル地域通貨のイメージ

市政に対する

一般質問



安間 亨 議員

子どもの不登校と保護者の就労環境

問 子どもの行き渋り・不登校に伴う保護者の就労への影響について、市の考えは。

答 現在、こども若者家庭センターが窓口となり、保護者からの相談を受けており、子どもへの対応が保護者の就労に影響を及ぼし、休業や退職を検討せざるを得ないケースがあることを把握している。また、市内の事業者には、子どもの行き渋りや不登校に悩む従業員の働き方に柔軟に対応し、就労継続を支えている事例があることも承知している。家庭の幸せと従業員の定着の双方に直結する課題であり、どちらかを優先するのではなく、ともに乗り越えられるための方策を見いだし、離職を防いでいくなどの必要があると考えている。

問 市内事業者への情報提供や啓発は。

答 休暇制度をはじめ、時差勤務やテレワークの活用などに先進的に取り組む事業者や、本市での取組事例も含め整理していく。今後、袋井商工会議所や浅羽町商工会との定期的な意見交換の場での紹介や市ホームページへの掲載、こども若者家庭センターを通じたPRなど、さまざまな機会を通じ、積極的に情報発信し、事業者への横展開を図っていきたい。



袋井市こども若者家庭センター



兼子 靖基 議員

日本一の防災先進都市へ

問 市内小学校における「防災教育」についての取組は。

答 防災の知識を有する方々の知見を教育の中に取り入れ、学校と地域が一緒になって子どもと地域の防災を高めていく取組を推進してまいりたい。三川小学校の防災への取組は教育委員会まで届いている。講師の「うんちまん」も大変有名になっている。今後、より子どもたちが防災意識を向上できるよう防災教育を進めてまいりたい。

問 台風や豪雨による増水時の市内の河川監視カメラについて、ライトの色により視覚的に伝えることは大変有効であると考えるがどうか。

答 静岡県土木総合防災情報「サイポスレーダー」は、氾濫危険度の水位の状況を色別で確認できる。視覚的な伝え方について有効と考えられるものは検討してまいりたい。

問 日本積載車・レッカー事業協同組合との災害協定について現在の進捗状況は。

答 現在、市内のレッカー事業者が所属する事業組合と協議を進めている。他自治体の取組状況を参考に、費用負担や安全管理、移動した車両の保管場所の検討など課題を整理した上で、協定締結に向けて取り組んでいく。



三川小学校での防災アカデミーの取組



太田 裕介 議員

ながら運転を許さない袋井市を目指して

問 ながら運転根絶パートナー制度の創設はできないか。

答 ながら運転の根絶を目指すパートナーを募る制度については大変有効な手段と考えている。制度の名称や目的、具体的な取組内容などについて、袋井警察署をはじめ、交通安全に関わる団体や商工団体とも協議をし、制度設計に向け進めてまいりたい。

問 脇見などの運転者の状態を検知し警報するドライバーモニタリングシステムなどを、公用車などへ小規模に先行導入できないか。

答 公用車への安全運転支援装置の設置は2031年9月の搭載義務化に先駆けて、まずは長距離走行が多い車両から導入を進めてまいりたい。

クラウンメロンのまち袋井を守る施策を

問 近隣市においてもクラウンメロンを活用した地域の魅力発信が進むが、「クラウンメロン＝袋井市」という都市ブランドを守る施策をするべきではないか。

答 クラウンメロンの主産地は袋井市であるという地位を守り、揺るぎないものにしてまいりたい。



ドライバーモニタリングシステムのイメージ

ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。
※通信料がかかる場合があります。



鈴木 賢和 議員

災害時における応援職員の受け入れ体制

問 災害対応業務に必要となる職員数および不足する人数は把握しているのか。

答 業務継続計画の中で発災後から1カ月経過まで、時間経過ごとの参集人数と災害対応業務に必要な職員の人数を想定し、これを比較して不足人数を算定している。受援計画では、この不足人数を基に受援対象業務や、必要な人数を定める予定である。

問 応援要請の判断と受け入れ体制については明確になっているのか。

答 人的応援の要請判断は、災害の規模や状況に応じて個別に判断するため、一律の基準は設けていない。応援が必要と判断された場合には、対象業務と必要人数を災害対策本部でとりまとめ、市長が決定し要請する。

証明書の郵送請求手続きの負担軽減

問 郵送請求における手続きの負担について、市はどのように認識しているのか。

答 定額小為替証書は、郵便局での購入が必要であり証書1枚につき200円の発行手数料がかかる。定額小為替の追加送付が発生するなど、金銭的、事務的な負担が生じていると認識している。



戸籍等郵送請求のイメージ



髙橋 美博 議員

リニア新幹線建設への見解は

問 リニア新幹線の必要性、安全性、財政問題などについての市長の見解はどうか。

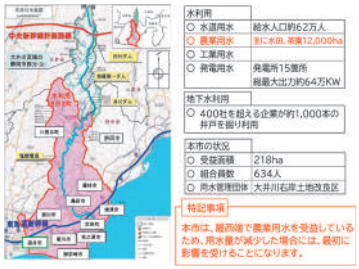
答 国に建設指示や工事計画の認可を行う権限があり、必要性、安全性、財政面も含めた検討の上で、事業認可し、財政投融資の活用も図られている。本事業は、経済成長を支える「国家的プロジェクト」であると認識している。

問 大井川流域は、トンネル工事により流量が減少する懸念がある。大井川流域自治体首長とどのような協議を重ねてきたか。

答 大井川農業用水の西端の利水者として水田などに利用しており、最初に影響を受ける地域になり得るため、水資源の維持や、影響が生じた場合には国の関与と対象期間を定めないことを要望してきた。

問 大変困難な工事で工期の長期化、突発事故も心配される。確認書で交わされた補償、対策で十分と考えているか。

答 水利用への影響が生じた場合には、期限や限度を定めることなくJR東海が機能回復や費用負担などの補償を行うこと、建設工事と水利用への影響に関する因果関係の立証を大井川流域の関係者に求めないことが盛り込まれた。



大井川の水の利用状況



大場 正昭 議員

「未来対話2026」の目的と成果は

問 第3次袋井市総合計画（地域編）も始動した。今後10年の各地域まちづくりのため、今年度「未来対話2026」を実施した。その開催状況と成果をどう捉えているか。

答 まちづくりに対する思いや意見を交わし合い、これからのまちづくりに「市民の声」を生かすことを目的に、今年4月から7月までの期間、市内14コミュニティセンターで開催した。まちづくり協議会役員の方を中心に議員や多くの市民に参加いただき、森町袋井インター通り線整備やふくろいセントラルパーク構想など、市の主要プロジェクトについて説明した。意見交換では、防災、交通安全、地域づくり、今後の部活動の在り方などさまざまな提案や意見をいただいた。

「2961Day」の今後の展開は

問 関係人口をどう増やしていくのか。「2961Day」の今後の展開はどうか。

答 「1000日前記念イベント」を皮切りに3年後を見据えて多様な事業を展開し、機運醸成に努め2029年以降も継続させ、本市と末永く関わり続ける関係人口の創出へとつなげていきたい。


2961Day1000日前イベント

市政に対する

一般質問



木下 正（きした ただし） 議員

75歳以上の健康づくりと助成制度の充実

問 本市および他自治体の人間ドック助成の状況は。

答 県内では本市を含む22市町で助成制度を設けており、1年度の1人あたりの助成上限額は長泉町と東伊豆町が3万円で、富士市や函南町など5市町が2万5000円前後、菊川市や伊豆市など8市町が2万円前後である。本市は2010年度から制度を開始し、掛川市と同額の1万円である。

問 後期高齢者の金銭的負担を極力抑え、人間ドックの受診率を上げるため助成限度を2万円と倍増する考えはあるか。

答 近隣自治体の状況に加え、増額による新規受診者の増加見込みや医療費の推移などを総合的に判断し、今後の方向性について研究していきたい。

放課後児童クラブにおける共通理解形成

問 クラブの役割やルール、子どもへの具体的な対応方針について支援員と保護者の合同研修は実施しているか。

答 支援員と保護者の共通理解形成と合同研修の導入については、支援員を対象に保育の質の向上を図る研修は実施しているが、支援員と保護者の合同研修は実施していない。



人間ドック助成金の充実と放課後児童クラブ支援員の安全・安心

議案に対する議員の賛否

下記５議案以外の15議案（全20議案）は、全員賛成でした。

○：賛成　×：反対　△：棄権　－：欠席または除斥　〈議長（佐野武次）は、採決に参加しません。〉

議案		議決結果	議決日	議案に対する議員の賛否																				
				村松孝師	森岡弘記	夏目幸彦	兼子靖基	鈴木功三	金子晃久	安間 亨	太田裕介	鈴木賢和	村井勝彦	佐野武次	髙木清隆	八木伸太郎	立石泰広	村松和幸	木下 正	近藤正美	大場正昭	山田貴子	髙橋美博
議第74号	令和7年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	R8.9.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第75号	令和7年度袋井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	R8.9.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第76号	令和7年度袋井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	R8.9.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第77号	令和7年度袋井市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	R8.9.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第81号	令和7年度袋井市水道事業会計決算認定について	認定	R8.9.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×

高南小学校の児童が議場を見学しました

10月1日、高南小学校の６年生が、議会や市政への関心を高め、議会の役割や仕組みについて理解するために議場を見学しました。児童からは「議長の主な仕事は何ですか。」、「市議会で決まったことはどのくらいで実施されますか。」といった質問がありました。また、議長席や登壇席で一般質問の発言を体験しました。

【発言体験の内容】

質疑（主なもの）

・水泳の授業で自分の身を守る体験をすることができる「着衣泳教室」を取り入れ、学ぶべきだと思うがどうか。

採決（主なもの）

・袋井市立高南小学校の夏休みを減らし、登校日を増やすことについて



発言体験の様子

討論（抜粋）

議第 74 号　令和７年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定について

反対　髙橋美博 議員（無会派）

袋井市子ども交流館あそびの杜実施設計に基づく事業費は令和８年５月末現在15億8000万円と報告された。今後発注単価の改定や物価高騰の影響を見込むと、整備費は20億円を超すのではないかと推察される。この整備費に加え、完成後は年8000万円とも想定される維持管理費を現在の厳しい財政状況で負担できるのか疑問である。子どもたちが天候・気候を気にせず年中快適に過ごすことができる施設は大変魅力的だが、これだけの費用を投入するなら実施すべき事業は他にもたくさんあると考えることから反対する。

賛成　鈴木賢和 議員（共創ふくろい）

令和７年度は、基本構想と基本計画を踏まえ、袋井市子ども交流館あそびの杜の施設整備に向けた設計業務が進められ、工事や開館に向けて具体化された段階であったと認識しており、事業の実現に向けた一歩が進められたものと評価する。施設整備にあたっては、子どもたちの多様な体験や交流を支える機能を充実させるとともに、周辺施設や地域との連携を生かし、幅広い世代に親しまれる拠点として発展していくことを期待し賛成する。

※発言順で掲載しております。
※上記内容については、討論の対象となった議案の中から、一部を抜粋しています。

「フッピートーク2026～市議会議員と袋井市の未来を語ろう～」開催

市議会の活動を発信するとともに、グループトークを通じて市民の皆さまと“袋井市”についての意見交換を行います。参加申し込みなどの詳細は12月１日から袋井市議会ホームページでご案内します。

皆さまのご参加をお待ちしています。

【開催日】令和９年１月23日（土）
【時　間】午後１時30分～３時30分
【場　所】袋井市教育会館４階　大会議室



昨年度の様子

特別委員会レポート

特別委員会は、特定の問題について審査・調査するために設置される委員会です。主な審査・調査内容をお知らせします。

公共施設マネジメント特別委員会

◇８月６日（第３回）

以下の議題について、協議を行いました。
《議題》
（１）公共施設等の現況及び将来の見通しについて
（２）公共施設等のマネジメントに関する基本的な方針について
（３）削減目標の設定について

総合健康センター将来構想特別委員会

◇８月17日（第１回）

以下の議題について、報告を受けました。
《議題》
（１）医療を取り巻く環境と今後の総合健康センター基本構想（医療機能）の進め方について

ふくろい 市議会だより
〒437-8666
袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL (0538) 44-3143 (直通)　FAX (0538) 44-3148
ホームページ http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp
発行／静岡県袋井市議会
編集／広報広聴委員会
発行日／令和8年11月1日
No. 103
ふくろい市議会だより ホームページ
VEGETABLE OIL INK 植物性インクを使用しています
♻ みんなで実践！5330運動
読み終わった広報紙はチラシや雑誌などと一緒に古紙回収へ

質問にお答えします 市議会議員の一問一答

Q.○○の秋といえば？

ご家庭での話題にしてみてください。

緑風会　安間　亨議員



再愛かつ最愛の秋！花粉の憂いもエアコンも要らぬ、私の推し（秋）が来た。一年で一番あなたを愛しています！

共創ふくろい　太田　裕介議員



天高く馬肥ゆる秋！菊花賞、秋華賞と楽しみ多き秋ですね。本来は空美しく食欲も旺盛になるという意味です。

緑風会　大場　正昭議員



スポーツの秋。縁あって卓球スポーツ少年団のコーチに復帰しました。ラケットを握るのも何十年ぶり、やはりスポーツは楽しいですね。

緑風会　金子　晃久議員



実りの秋といえば、五穀豊穣と無病息災を願うふくろい祭り。おはやしが聞こえるとテンションが上がります。

緑風会　兼子　靖基議員



読書と紅葉です！最近は小説の実写化がされますが、自分の解釈とのギャップが、また魅力の一つです。

緑風会　木下　正議員



小学五年で出会った東京五輪の興奮。秋空のスポーツと祭りが今も心を躍らせる季節。

緑風会　近藤　正美議員



月見、柿栗、赤とんぼ。稲穂、紅葉、虫の声。色も香りも音色も秋の風情は郷愁を誘います。

共創ふくろい　佐野　武次議員



秋といえば、お祭りでしょう。最近は人口減少で開催が危ぶまれているところもありますが、皆で楽しみましょう。

緑風会　鈴木　功三議員



お祭りの秋。朝祭りの祭りばやしを聴きながら生まれたせいかおはやしを聴くと今でも血が騒ぎます。

共創ふくろい　鈴木　賢和議員



秋が深まるように、人生も出会いや経験で豊かになるもの。これからもご縁を大切に歩んでいきます。

共創ふくろい　髙木　清隆議員



収穫の秋。沖縄（島）バナナ栽培のお手伝いをしています。一般的なバナナの半分ほどの大きさで、もっちり感と香りが強く、甘さに少し酸味が重なるのが大きな特徴です。

無会派　髙橋　美博議員



秋はおいしい果物がいっぱい。イチジク、柿、栗、ミカン、そしてイチゴと移る旬を感じながら味わいます。

市民クラブ　立石　泰広議員



実りの秋、我が家の庭の柿の木、毎年60～70の実をつけますが、熟した実を鳥がつつく被害が心配です。

共創ふくろい　夏目　幸彦議員



芸術の秋。書く・詠む・描く・奏でるなどのセンスがないから、専ら鑑賞し触れることを大切にしています。

共創ふくろい　村井　勝彦議員



秋のお祭り。地域自慢の屋台から祭りばやしが鳴り響き、皆が一緒になって笑顔で屋台を引き回す。私はこの一時を毎年楽しんでいる。

緑風会　村松　和幸議員



紅葉、秋祭り、運動会などいっぱいありますね。私は食の秋が好きかなぁ　サンマの塩焼き大好きです（笑）

共創ふくろい　村松　孝師議員



祭典の秋、太鼓や掛け声が響く中、地域のみんなが集まり、笑顔と活気に包まれる季節です。

共創ふくろい　森岡　弘記議員



秋といえば「祭り」！子どもからお年寄りまで屋台とおはやしに胸躍らせ地域みんなで心を一つにする大切な日！

市民クラブ　八木伸太郎議員



秋になると至る所でおいしそうな写真を見掛け、「食欲の秋だから」と言い訳を言って体重に目をつぶります。

共創ふくろい　山田　貴子議員



お祭りの秋です。平宇は、51年前に棟梁以下青年部たちで手造りした屋台「龍和殿」が引き継がれています。

コラム　市民の声を見つめて

秋の訪れとともに、少しずつ季節の変化を感じる頃となりました。議会では、フクロウのように周りをよく見ながら、日々の暮らしの中にある皆さまの声に耳を傾けています。子育てや福祉、防災など、身近な困り事や気付きを大切にし、皆さまと一緒に、より暮らしやすいまちをつくっていきます。

（広報広聴委員：鈴木賢和）



©袋井市

11月市議会定例会のお知らせ

【場所】市役所5階議場および各委員会室
【時間】午前9時から
【日程】

11月	16日（月）	開会、議案の説明
	25日（水）	市政に対する代表質問
	26日（木）	市政に対する一般質問
	27日（金）	市政に対する一般質問
	30日（月）	市政に対する一般質問

12月	1日（火）	予算決算委員会（全体会）
	2日（水）	予算決算委員会（分科会）
	3日（木）	常任委員会
	14日（月）	予算決算委員会（全体会）
	18日（金）	委員長報告～採決、閉会

※変更となる場合があります